

芸術文化選奨

受賞年度：平成25年度

受賞区分：文化賞（個人）

氏名又は団体名	じゅうよんせい のむら またさぶろう（ほんみょう のむら のぶゆき） 十四世 野村 又三郎（本名 野村 信行）		
代表者(団体のみ)		設立年(団体のみ)	
住所	名古屋市	会員数(団体のみ)	
ホームページ			

受賞時の業績概要

分野：能楽（狂言）

狂言和泉流の一派である野村又三郎家に生まれ、昭和51年満4歳で初舞台を踏んで以降能楽師狂言方として、様々な舞台に立つ。平成11年国立能楽堂自主公演にて上演が絶えていた番外狂言「浦島」を約百年ぶりに復曲上演するなど、狂言の分野で意欲的な活動を続けている。一方、平成15年には、ハリウッド映画「ラストサムライ」の劇中劇に脚本・演出及び出演で参加するなど、狂言以外の分野においても高い評価を得ている。また、地域に直門教場を開設しアマチュアへの指導を積極的に行い、能楽の普及教育にも長年尽力するなど本県芸術文化の振興と向上に大きく貢献している。

経歴・業績・近年の活動内容

【略歴】

昭和46年6月 愛知県名古屋市に生まれる
平成 6年3月 東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業
平成 8年3月 東京藝術大学音楽学部別科邦楽修了
平成 8年5月 四世野村小三郎を名跡継承
平成21年2月 名古屋市芸術奨励賞受賞
平成23年5月 十四世野村又三郎を襲名

【近年の活動内容】

平成17年 「愛・地球博」開会式で創作舞踊狂言「叡智の袋」を脚本・演出・主演する。
平成24年 パティオ池鯉鮒での「まちおこし新作音楽人形劇／平安人形絵巻 愛・かきつばた姫」に語り手として出演
平成25年 NHKドラマ「父の花、咲く春～岐阜・長良川幫間物語～」に出演



野村家三代披露公演
狂言「靱猿（うつぼざる）」（平成16年）